

美術授業用画像加工アプリ

Posterize トリミング・色彩調整

写真をキャンバスやデザインパネルの比率でトリミングし、色数・輪郭・グリッドを調整して、減色処理や色面構成、転写用資料に活用できます。

まずはこの順番

- 1 画像読み込み
- 2 トリミング
- 3 色調整
- 4 階調変更
- 5 グリッド線
- 6 保存/連携

Posterize

指定トリミング・色彩調整

スマホ版

Collageへ

Drawへ

保存

一時保存

一時復元

一時削除

印刷

トリミング比率・規格

B B1 縦向き

サイズ: 幅 728 cm × 高さ 1030 cm

画像選択:

ファイルの選択 ファイルが選択されていません

回転 90° 90° 0 適用

① トリミング実行

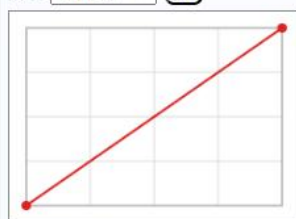
解像度 2倍 ② 実行

トーンカーブ

色の3要素

コントラスト

対象: RGB全体



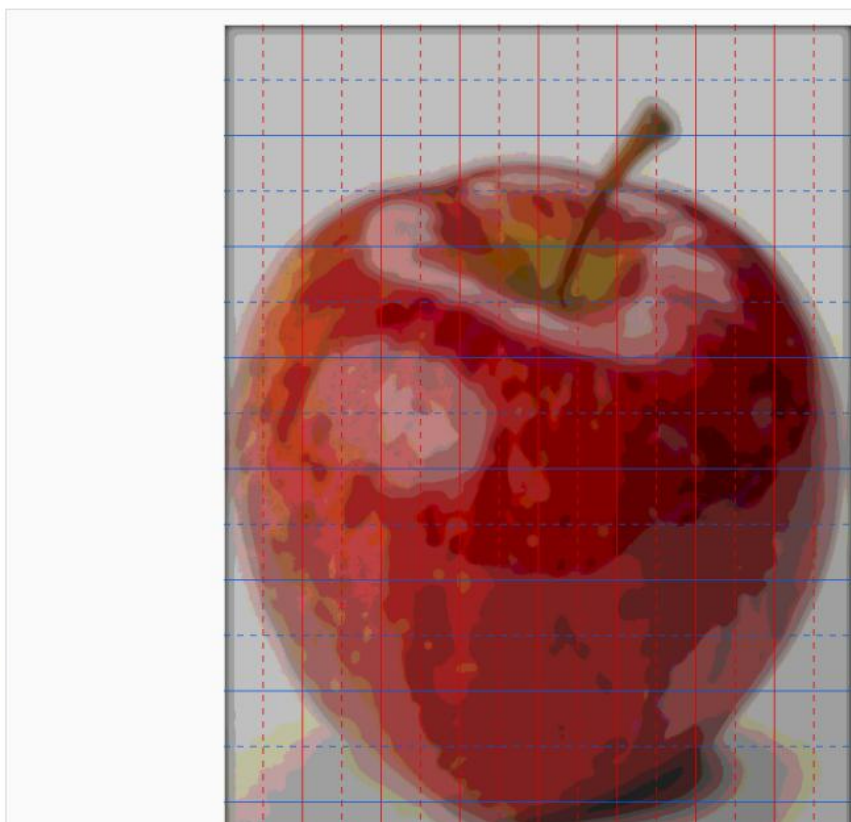
③ 確定

ぼかし 0

階調 30 ⑤ ポスタライズ

境界線 実行 ⑥ グリッド線

ズーム 100%



1. 画像を読み込む

- 「画像選択」から写真を選びます。PC版では画像を画面へドラッグ&ドロップしても読み込みます。
- JPG・PNGなどの画像拡張子に加え、Webpにも対応しています。
- CollageやDrawから送った画像は、Posterizeを開いた時に自動で読み込まれます。

2. トリミングする

- 比率・規格を選ぶと、その形に合わせて切り取れます。
- 画像を全部入れたい時は「余白」で白い余白を足してから切り取ります。
- 切り取り後に、色調整・ポスタライズなどが使えるようになります。
- （注意点）まずトリミング実行しないと次の機能へ進めません。

3. 色を調整する

- トーンカーブは、明るい部分・暗い部分を細かく調整できます。
- 色の3要素は、色相・彩度・明度をまとめて変えます。
- スライダーを動かすとプレビューされます。よければ「確定」を押します。

4. ポスタライズ（減色処理）

- 「階調」の数字を小さくすると、減色処理され、色面構成の下図となります。
- 「ぼかし」を少し入れてからポスタライズすると、細かいノイズが減ります。
- 「境界線」は形を線で見せたい時に使います。
- 「グリッド線」は作品の構図や転写用の目安に使えます。

5. グリッド線

- 短辺は青、長辺は赤で16分割の線が入ります。（表示/非表示）
- 実際のデザインパネル等に同様の16分割の線を引くことで輪郭線を拡大して写せます。
（授業では、生徒から Google Classroom 等で受け取った画像を加工し、印刷して返却する使い方を想定しています。）

6. 保存・連携

- 「保存」は現在の加工画像を画像ファイルとして保存します。
- 「Collageへ」は、加工した画像をコラージュ素材として送ります。
- 「Drawへ」は、加工した画像を下絵として送ります。
- 「一時保存」はこの端末のブラウザ内に保存します。
- Collage・Draw から送られた画像はレイヤ情報を引き継いだまま表示し、この場合は指定したレイヤの色調調整、ポスタライズ化等を行います。

困った時

- ボタンが押せない時は、先に「トリミング実行」をしてください。
- 色調整が反映されない時は、スライダー後に「確定」を押したか確認します。
- やり直したい時は、各機能の横にある「へ」で一つ前に戻せます。
- 最初からやり直す時は、ゴミ箱ボタンで全リセットします。

※色面構成としてさらに仕上げたい場合は、作業画像を Draw へ送り、境界線を曲線ペンなどで整えることができます。